授業科目　カウンセリング論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	社会
伊　東　正　裕	開講時期	後期	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：GIO】

ソーシャル・ワークはカウンセリングと密接に関係しており、ソーシャル・ワーカーは、心の相談としてのカウンセリングに精通している必要がある。この授業では、ソーシャル･ワークにおいて適切にカウンセリングを行うために、面接法についての理解を深め、カウンセリングについて基本的なことがらを習得することを目的としている。具体的には、ソーシャル・ワーカーとして心の相談を受ける際の基本的態度や技法を身につけ、来談者の訴えを「分かること」や深い悩みを「受け止めること」について理解し、実践できるようになることを目指している。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. ソーシャルワーカーがカウンセリングを「学ぶこと」の意義を説明できる。
2. カウンセリングの目的やカウンセラーの倫理について説明できる。
3. カウンセラーの基本的態度やカウンセリングの基本的技法について説明できる。
4. カウンセリングの構成要素について説明できる。
5. カウンセリングがどのように展開するか説明できる。
6. カウンセリングにおける実践と理論の関係について説明できる。
7. カウンセリングの学習方法・研究方法について説明し、実行できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ソーシャルワークとカウンセリング・カウンセリングを学ぶ意味	1	講義
2	カウンセリングとは何か	2	〃
3	面接者の倫理	2	〃
4	カウンセリングの実際（１）分かるということ・初回面接と面接のゴール	3	〃
5	カウンセリングの実際（２）面接で得られる情報	3	〃
6	カウンセリングの構成要素（１）聴くこと	4	〃
7	カウンセリングの構成要素（２）見ること	4	〃
8	カウンセリングの構成要素（３）対等な出会い	4	〃
9	カウンセリングの構成要素（４）専門的関係・ストーリーを読む	4	〃
10	カウンセリングの展開（１）来談者を「分かること」１	5	〃
11	カウンセリングの展開（２）来談者を「分かること」２	5	〃
12	カウンセリングの展開（３）受け止めること１	5	〃
13	カウンセリングの展開（４）受け止めること２	5	〃
14	カウンセリング理論と実践・学び方と研究法	６・７	〃
15	まとめ	１～７	〃

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	面接法（追補版）	熊倉伸宏	新興医学出版	2003・1,500円
参考書	新訂・方法としての面接	土居健郎	医学書院	1992・1,800円
その他の資料	適宜プリントを配布する。			

【評価方法】

定期試験あるいは期末レポート

【履修上の留意点】

この授業は、３年次前期に開講する「カウンセリング技法」につながるものでる。「カウンセリング技法」の受講を希望する人および精神保健福祉士受験資格の取得を希望する人はしっかり学んでおくことが望ましい。